

2026年2月2日

報道関係各位

一般社団法人中部産業連盟

AI活用の“落とし穴”を防ぐ 【無料】「AI活用の統制強化と信頼性確保セミナー」オンライン開催のお知らせ

マネジメント専門団体[※]の一般社団法人中部産業連盟（略称：中産連・会長：藤岡高広・本部：愛知県名古屋市東区白壁三丁目12-13）では、参加費無料にて企業におけるAI活用の信頼性確保と統制強化をテーマとしたオンラインセミナー「ISO/IEC42001（AIMS）に基づくAI活用の統制強化と信頼性確保セミナー」を、2026年2月26日（木）に開催いたします。

生成AIの普及に伴い、企業では業務効率化や新規サービス開発へのAI活用が急速に進んでいます。一方で、誤情報生成、バイアス、セキュリティリスク、説明責任不足など、AI特有のリスクに対するガバナンス整備は十分とは言えません。こうした背景のもと、国際規格ISO/IEC42001（AIMS：AIマネジメントシステム）が制定され、AI活用における組織的な管理体制を整備する重要性が高まっています。

本セミナーでは、ISO/IEC42001が求める要件を踏まえ、企業が実務レベルで押さえるべき統制ポイントを、実例や運用のヒントを交えて分かりやすく解説します。AIを「安全に」「継続的に」「信頼性をもって」活用するための実効的なガバナンス構築を支援する内容です。

最新規格に基づいたガバナンス設計をわかりやすく伝えることで、企業が安心してAI活用を進めるための支援を目的としていますので、記事にてご紹介をいただけましたら幸いです。

なお、本セミナーの詳細ほか、ご不明な点などがありましたら下記までお問い合わせください。

たとえば・・・

- ・生成AIに文章の要約でデータを読み込ませた⇒情報漏えいのリスクを認識していますか？
 - ・生成AIに文章に添える挿絵を制作させた⇒著作権侵害や規制違反につながる恐れを認識していますか？
 - ・生成AIの生成内容を鵜呑みにして疑わない⇒生成内容に誤情報が入り得ることを認識していますか？
- など、AI活用にはさまざまな留意すべき点があります。

以上

記

1. とき：2026年2月26日（木） 午後2時より午後4時まで
2. ところ：オンライン
3. 参加費：無料
4. プログラム：第一部 「AIMS適合性評価制度の概要とAIMS認証への期待」
一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）
セキュリティマネジメント推進室 室長 郡司哲也氏
第二部 「AIリスクを最小化し、信頼性を担保するマネジメントシステムの構築と実践」
一般社団法人中部産業連盟 主任コンサルタント 青山 誠
5. 参加対象者：経営層、DX推進部門、情報システム部門、品質管理部門、リスク管理部門などAIを組織で安全に活用したい企業の担当者など
6. 申込み方法：中産連ホームページ「ISO/IEC42001（AIMS）に基づくAI活用の統制強化と信頼性確保セミナー」ページより申込み（<https://www.chusanren.or.jp/sc/sdata/5551.html>）
※メディア関係者のみなさまをご招待させていただきますので下記までご連絡ください。



※マネジメント専門団体：企業をはじめ組織における人材の育成と経営課題解決のコンサルティングなど、マネジメント（経営）に関わる支援を行っています。

【お問い合わせ先】

一般社団法人中部産業連盟 ISO研修部 担当：衣川、梁
Tel 052-931-9824（直） Fax 052-931-5198
E-mail iso@chusanren.or.jp URL <https://www.chusanren.or.jp>

ISO/IEC42001 (AIMS) に基づく AI活用の統制強化と 信頼性確保

2026.2.26 (木)

時間：14時～16時 形式：Zoom

AI は今や、業務効率化や意思決定支援を超え、
社会や産業の競争力に直結する**戦略的要素**です。

その急速な活用に、企業のルール整備は追いついていますか？

AIを安全かつ倫理的に利用するための国際規格「ISO/IEC 42001 (AIMS)」こそが、
これらの課題を解決する**全社AIガバナンス構築の羅針盤**です。

本セミナーでは、AIガバナンス構築を確固たるものとするために、
信頼できる「制度」と「実践」の両側面から体系的にアプローチします。

こんなご担当者・経営層に最適!!

①「AI活用への不安」を「安心」に変えたい方
AI活用に際し、「機密情報を入力して大丈夫？」
「著作権侵害のリスクは？」と不安を感じている

②ルール作りをこれから始めたい方
部門ごとにAIツールの導入が進む中で、
全社的なAI活用のルールを整備したい

③AIによる「判断ミス」を防ぎたい方
ハルシネーション(嘘の情報)や誤情報のリスクを
抑え、信頼性、透明性、説明責任を備えた活用を
実現したい

④国際的な「信頼」を獲得したい方
ISO/IEC 42001 (AIMS) の概要と認証制度
を学び、将来的に認証取得を目指すことで、
競争優位性を維持したい

第1部

AIMS適合性評価制度の概要と
AIMS認証への期待



郡司 哲也 氏
JIPDEC
セキュリティマネジメント推進室
室長

2020年4月より、セキュリティマネジメント推進室に所属し、
一般社団法人情報マネジメントシステム認定センター
(ISMS-AC) 出向。2024年4月より現職。
JIPDEC セキュリティマネジメント推進室で情報マネジメント
システムの適合性評価制度の普及を推進しつつ、ISMS-ACの
認定審査員として、ISMS/AIMS/ITSMS/BCMS認証機関の
認定審査も実施。

第2部

AIリスクを最小化し、信頼性を担保する
マネジメントシステムの構築と実践

青山 誠

中産連 主任コンサルタント

顧客企業に対しISMS構築・認証取得支援を始め、
IT・IoTシステム企画・導入
コンサルティング等に従事。



申込はこちら

<https://forms.office.com/rrgf4knsdyy>